



「短歌を学んで短冊を書こう」

小学生短歌優秀作品発表!

先日、各教室で七夕イベントが開催されました。今年は、「周りへの優しさ」、「家族への感謝」を書いてくれた小学生がいました。イベントを通じて、温かい心を持つている生徒にふれ、とても感動しました。創学舎では、「地頭を鍛える訓練」を積極的に取り入れています。夏休みも、「良質な文章」、「古典作品」に触れ、場面を想像し、想いを馳せてみてください。



短歌審査委員会 審査委員長 関野 光希子

特賞(一名)

☆ よぞらには ひかりかがやく ほしのはな
おとがひびくと はなは「ぼれる

【受賞者 町原寧々さんのコメント】
まさか特賞がとれるとは思っていませんでしたので、とてもうれしいです。

【新柏教室長 松尾裕史より】

視覚や聴覚を意識し、比喻や全て平仮名で書くといった技巧を用い、町原さんらしい素敵な作品です。入賞おめでとう!

金賞(一名)

☆ 新時代 去年みたいに 安全で
ケガ事故のない 令和にしよう

【受賞者 椿原那奈さんのコメント】
まさか金賞がとれると思いませんでした。とても嬉しいです。

【新松戸教室長 村田寛之より】

令和の幕開けに相応しい素晴らしい一首です。さすが百首暗唱達成者!金賞受賞、おめでとう!

銀賞(二名)

☆ たなばたで 書いた願いは かなうかな
かなうと信じ 空に願いたい

【受賞者 小林里桜さんのコメント】
初めて銀賞がとれたので、うれしいです。

【我孫子教室長 長坂浩之より】

普段からしっかりと学習に取り組んでいる小林さんの願いならばきつとかなうはず。かなうと信じ、がんばりましょう。

☆ そろそろさ 自分の部屋が ほしいよ
父に話すが 願いとこかず

【受賞者 小林虹心さんのコメント】

選ばれてうれしいです。(でも私の部屋はまだできなようです。)

【柏教室東葛中受験部 上條純一より】

短歌のリズムで切実な願いが詠まれていてステキな歌ですね。いつか願いは届きますよ!

銅賞(八名)

☆ 夏休み まだかまだかとみないうよ
宿題やです みないうよ

【受賞者 金子祭鈴さんのコメント】

まさか賞がとれるとは思っていませんでしたので、びっくりしたけれど、とても嬉しかったです。

【我孫子教室長 長坂浩之のコメント】
リズムよく小学生の本音を詠っていてとてもおもしろいです。夏休みを楽しみつつ宿題がんばってください。

☆ 夏祭り 食べ物食べた、母に言う
サイフのチャック しだいに開く

【受賞者 中野陽太くんのコメント】

まさか銅賞をとれるなんて思っていなかったのでもううれしいです。

【江戸川台教室長 森清志より】

銅賞受賞おめでとうございます!
お祭りの フランクフルト かき氷 いろんなにほひ 幸せすぎる
おいしそうに食べる笑顔はきつとお母さんも嬉しいと思います。

☆ 創学舎 国語と算数 できるかな
それともうひとつ 友達つくる

【受賞者 園部秀真くんのコメント】

自分の思ったことを書いて賞がとれてうれしいです。

【柏教室長 五日市浩より】

この短歌のようにすなおで気取ることのないきみのことだから、きつと新しい友だちができますよ!

☆ かぶと虫 子どもは好きな 生き物だ
だけと母さん いやだとにげる

【受賞者 岩尾拓飛くんのコメント】

選ばれてびっくりした。

【新柏教室長 松尾裕史より】

日常生活に目を当てたりアルで素晴らしい作品ですね。

☆ 将来は 笑顔いっぱい 咲かせよう
驚くような デザイナー

【受賞者 田部井璃杏さんのコメント】

賞がとれるとは思っていませんでしたので、うれしいです。

【新松戸教室長 村田寛之より】

仕事を通して多くの人を幸せにしたい気持ちが伝わり、温かい気持ちになりました。銅賞受賞、おめでとう!

☆ 九年後 夢の舞台上で 金メダル
新体操で ロサンゼルスへ

【受賞者 間弓遥菜さんのコメント】

受賞できて嬉しいです。短冊に書いた夢や勉強などもがんばりたいです。

【パーソナル我孫子教室長 松永弘文より】

大きな夢と目標に向かって生きることは素晴らしいですね。

☆ 知恵ふやし 今後にかかそう 頑張るぞ
予習復習 あきらめないぞ

【受賞者 多田侑一郎くんのコメント】

まさか選ばれるとは思いませんでした。この受賞した経験を活かして国語の勉強を頑張りたいです。

【パーソナルおたかの森教室長矢上有一より】

いつも楽しそうに、授業を受けている多田くんが今回、受賞することになり大変うれしく思っております。今後も期待しています。

☆
ともだちと遊びに行くよ 夏休み
市民プールで 水面バレー

【受賞者 田中理央さんのコメント】
受賞してとてもうれいす。
【パーソナル柏教室長 山崎将之より】
アクティブな田中さんらしい一句ですね。

勉強法を知らない子供達⑩

●「今日で三回目の入試……」今まで全部白紙……。「ちよ、ちよと待て。記号でも何でも少しは書いたらう?」「……受験番号と名前だけ……。他は何も書いてない……。」「……」

●そこへAさんに付き添ってきたBさんが割って入る。「先生、何とかしてやって!明日、第一志望の入試なの!」

●何てことだ……。これは無理だ……。しかし、A子は何か馬鹿なことをしでかすかもしれない……。何とかしなければ……。でも、一体どんな手があるのか……。仕方ない。やれるだけやってみるか……。

●「こっちへ来い!」A子の手をひっぱると、Fの自習室に放り込んだ。そして、ティッシュを渡す。「泣け。逃げるなよ。三十分泣け!三十分したら話を始める。必ず大丈夫なようにしてやる!」

●何の策もない。でまかせだ。そうだ。B子の話を聞こう。「A子はね、本当に心配症なんです。定期テストでも、手が震える。先生は何回も面談したんでしよう?何で気付かなかったんですか!」

「いやいや、申し訳ない。面談のときは、そういう弱みは全く見せなかったから……。ナイーブだということとは分ってはいたが……。」「もういいです。とにかく何とかしてください。明日から第一

志望の立教なんです……。三回受けるはずです。」「分った……。やってみよう……。」「頭がきりきりする。あと二十五分。何とか作戦をたてて、立て直さなければ……。」

●それから、約二時間。学校生活のことから家族のこと、将来のこと、受験のこと……。苦しかったこと、悲しかったことなど全て吐き出させて、気持ちの整理をし、作戦を授けた。その詳細は、書くだけのエネルギーが続かないので省く。幸い、A子は立教に三学部出願していたので、これがプラスに働いた。

●「明日は失敗して来い。白紙でもかまわない。その次の立教も失敗してよい。三回目で力を出せばよい。思い切り悪い点を取るつもりで行ってこい。」そして、真つ白になったときのシミュレーションを何十回もくり返し言わせた……。

●結果、立教第一志望の学部合格。実は、こんなことが時々ある。そして、その度に思うのが、「頭真つ白病」の怖さである。このタイプの人は、試験で力を発揮できないまま終わることも少なくない。私が年間で千回以上面接するのは、一つにはこの「真つ白病」を見抜き、手当てするためである。世の中に、この手の本があれば良いのだが、残念ながらまだ見つけられない。恐らく存在していないのかもしれない。ということで、闘いはまだ続く。

③生徒 「テストのとき、時間が気になって急こうとするんですが、速く読めません。いつも時間が足りません。」

回答 「速く読んで、速く解く練習をした方がいいよ。」

コメント これは完全に不毛である。(以下次号)

(小林)

2019 創学舎 主催 私立高校合同説明会



来る **9月22日(日)** に創学舎主催『**私立高校合同説明会**』を開催いたします。各私立高校の先生方による説明ですので、受験校選びの材料としては最適なイベントとなっています。私立高校が一堂に会するまたとない機会ですので、奮ってご参加ください。

<会場> **柏の葉カンファレンスセンター**



昨年の説明会の様子です



<時間> **13:00~16:30** (入退場自由) ※各学校約20分間の説明会となります。

<参加校>

- ・足立学園高校
 - ・駒込学園高校
 - ・芝浦工大柏高校
 - ・聖徳大学女子高校
 - ・西武台千葉高校
 - ・専修大学松戸高校
 - ・中央学院高校
 - ・土浦日大高校
 - ・二松學舎大柏高校
 - ・日本体育大学柏高校
 - ・流通経済大柏高校
 - ・麗澤高校
 - ・江戸川学園取手高校
 - ・東洋大牛久高校
 - ・常総学院高校
- (順不同)

